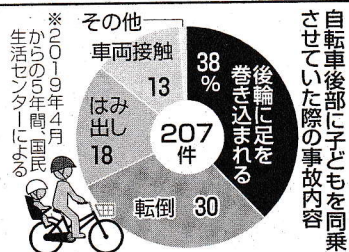


自転車後部の子ども 体はみ出し注意

R 6. 6. 6 (木) 日経



電柱などに衝突、骨折多く



足を伸ばした状態で自転車後部に座る子どものマネキン（5月、東京都港区の国民生活センター）

自転車後部に子どもを乗せて走行している際、後輪に足が巻き込まれるなどの事故が相次いでいるとして、国民生活センターが注意を呼びかけている。特に、子どもが後部で体をはみ出して電柱などにぶつかるケースでは、半数ほどが骨折などの重篤なけがにつながるなど危険性が高いことが

明らかになったという。センターによると、後部に子どもを乗せていた際の事故報告は2019年4月からの5年間で207件。一番多いのは子どもが後輪に足を巻き込まれるケースで約4割。転倒が約3割、体のはみ出しが約2割と続いた。はみ出しによる事故（37件）で何と接触した

か調べたところ、電柱や標識の支柱20件、ガードレール8件、扉と壁がそれぞれ2件などだった。23年には4歳の女児がガードレールに右足をぶつけ、大腿骨を骨折して約3週間入院する大けが

を負った。22年には5歳の男児が身を乗り出して電柱に頭をぶつけた。ヘルメットはしておらず、頭を4針縫うけがをした。センターが事故状況を検証したところ、子どもが足を伸ばした状態で障害物と接触すると、股関節を開く形になって大腿

骨付近をけがしやすいことや、大人の背中で障害物が見えにくいことが分かったという。センターは、子どもに對し体をはみ出さないよう声かけをし、狭い通路では自転車から降り、押して歩くことなどを徹底してほしいとしている。

令和6年6月6日(木)

日経新聞

大町自治会